八東町の「新たな上水道陸路送水管工事」が完成しました。

平成 25 年 2 月に八東地区自治会連合会から松江市に要望した、陸路による新たなルート（大海崎方面）の送水管布設工事（総事業費 7 億 4 千万円）が完成し、6 月 9 日に八東ポンプ場（波入）で完成記念式典が行われました。これにより将来にわたって上水道の安定供給が確保されます。

【事業概要】

旧八東町簡易水道は、島根県水道用水供給事業（飯梨川水系）からの受水を水源とし、島根県企業局の今津浄水場で作った水道水を、中海湖底管（約 6.5 km）を通って波入浄水場（ポンプ施設）を経由し、大塚山配水池に送水、八東町全域に昭和 57 年 6 月に給水を開始しました。

このうち湖底管は、塩害に強い特殊ポリエチレン管φ200 を採用しているものの老朽化が進み、平成 14 年度と平成 21 年度に、大規模な漏水事故が発生し、送水が停止、八東町が広範囲にわたり断水する事態が発生しました。こうしたことから、将来にわたって安定供給を行う面で不安を抱えていたため、湖底管に替わる新たな送水ルートを確保していく必要があり、平成 25 年度から平成 28 年度にかけて、島根県水道用水供給事業（飯梨川水系）の受水を水源とする松江水道事業の朝酌配水池より八東町へ向けた陸路に送水管を新たに布設し、波入浄水場内に新たにﾎﾟﾝﾌﾟ井を築造、将来にわたって安定供給を確保する事業を実施したものです。

●事業整備年度　平成 25 年～平成 28 年度　●総事業費　7 億 4 千万円
事業費内訳　国庫補助金 1 億 8 千万円
単独事業費 5 億 6 千万円

【施設整備概要】

●ﾎﾟﾝﾌﾟ井（新設）
SUS 造　7.0m×5.0m×3.0m×2 池　V=200m3
●送水ポンプ（新設）
φ100×1.75m3/分×62m×30kw×2 台（うち 1 台予備）
●送水管（新設）
送水管布設総延長（Φ200～250）　L=9,377m